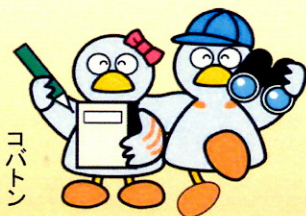


がんばるNPO法人を紹介します！

彩の国
埼玉県



コバトン

学生記者による コバトンNPOニュース

発行:埼玉県北部地域振興センター 〒360-0031 熊谷市末広3-9-1 ☎048(524)1110

編集協力:立正大学ボランティアセンター・くまがやねっと 検索

第75号 2019. 12. 2

特定非営利活動法人めめまガイドボランティア阿うんの会(熊谷市)

めめまガイドボランティア阿うんの会(以下、阿うんの会)(増田 哲也 代表理事)は、旧妻沼町の案内を目的とし平成17年から任意団体として活動を始め、平成30年12月にNPO法人化しました。国宝「妻沼聖天山本殿」や阿うんの会が管理運営する荻野吟子記念館等でボランティアガイドを行うほか、地元の小学校へ赴き出前講座をしています。

「楽しい・優しい・
ゆっくり・笑顔」
をモットーに

取材のため、私たちは荻野吟子記念館を訪れました。記念館は日本公許女性医師第一号の荻野吟子が実際に暮らしていた妻沼の長屋を約1.5倍に再現して造られたそうです。

展示室には荻野吟子に関連する様々な展示物があり、増田代表が分かりやすく丁寧にガイドしてくださいました。「楽しい・優しい・ゆっくり・笑顔」をモットーに、日々ガイドをしているという阿うんの会。大人だけでなく、子どもにも分かりやすく解説するために、紙芝居を用いるという工夫もされているそうです。

日々の活動を通じて

阿うんの会ではガイドボランティアがそれぞれ工夫してガイドをしています。そのため知識豊富なガイドを聞きたいというリピーターのお客さんもいらっしゃるとのことです。一方で、阿うんの会の活動はガイドボランティアのメンバーにとって生きがいになっているそうです。

お客さんに慕われ、メンバーにとっても大事な阿うんの会ですが、今後の活動について増田代表に伺うと「これからも活動を継続するために、会の活動に共感してくれる人を増やしたい。」とおっしゃっていました。また、今後は妻沼地域以外の小学校でも出前講座を行い、より多くの子供たちに妻沼を知ってもらえるよう活動したいそうです。

ガイドの様子

取材の感想

実際に阿うんの会の方によるガイドを聞き、妻沼の歴史や荻野吟子という埼玉の三偉人の一人をより深く知ることができました。阿うんの会ではガイドボランティアになる前に多くの講座を受けるため、知識豊富なガイドをできるそうです。ぜひ多くの方に阿うんの会のガイドを聞いてもらい、妻沼の伝統・歴史を知ってもらいたいと思いました。

立正大学3年 T・I



←阿うんの会が管理運営している荻野吟子記念館

【法人問い合わせ先】

〒360-0201
埼玉県熊谷市妻沼1511-4
TEL:048-589-4740